

令和3年度「関係人口創出・拡大のための対流促進事業」

成果報告会資料

団体名：株式会社クラフトパートナーズ

福井県の紹介

Access



禅（ZEN）の里（永平寺町）

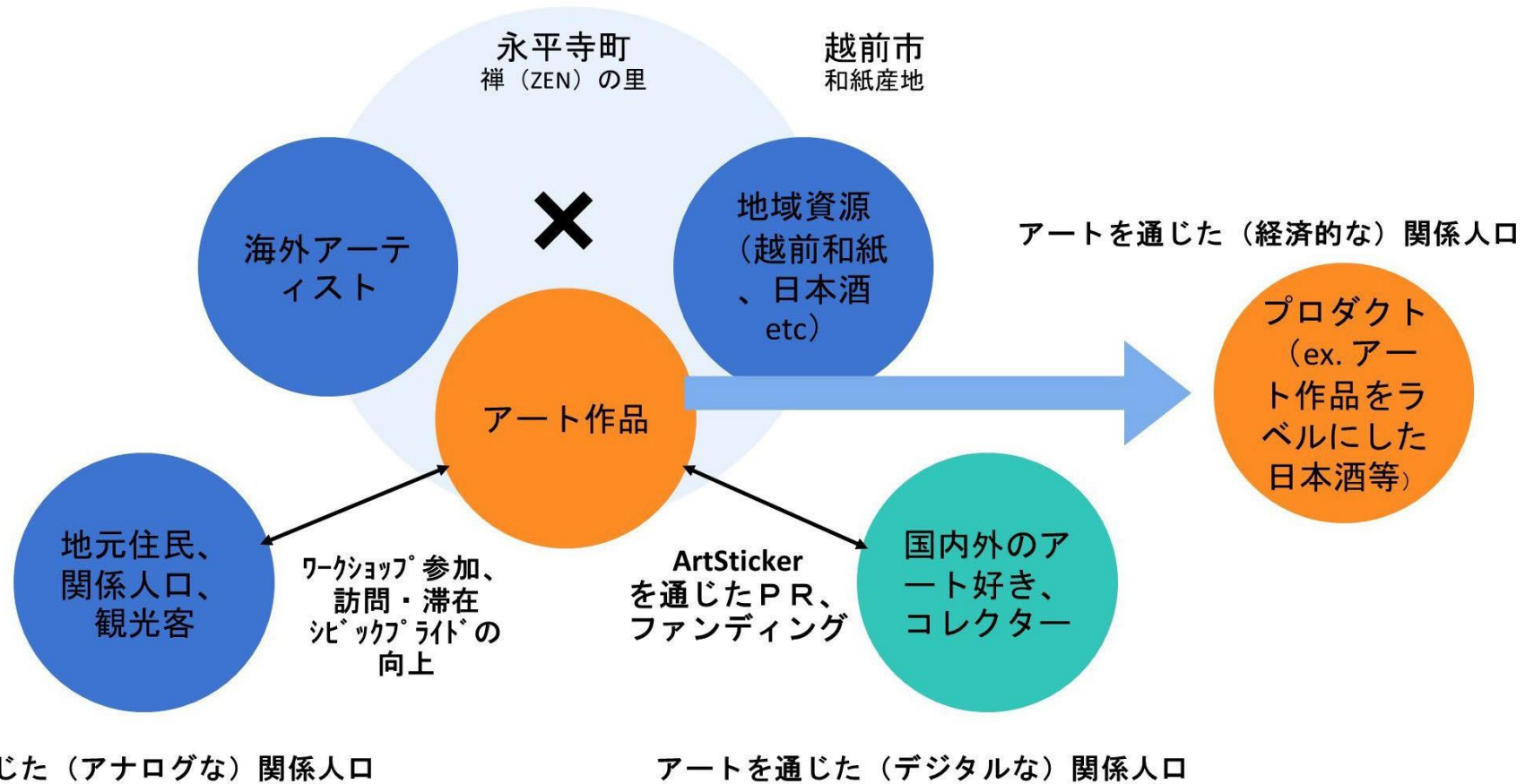


越前和紙（越前市）など、伝統工芸産地

1.事業概要・スキーム図

事業名：海外アーティスト×地域資源（人、文化、工芸）の融合による新たな関係人口の創出

ふくい Arts Center and Residence プロジェクト



2.活動内容

【事業概要】

「ZEN（禅）の里」である福井県永平寺町および「工芸の里」である越前市において、ZENや和の伝統文化・工芸等に関心のある京都在住を中心とした外国人アーティストを招き、地域住民・職人との交流促進を図るとともに、伝統工芸（越前和紙）とのコラボレーションにより新たな作品を共創する。このステップを経て地元住民・職人の意識を高め、アーティスト・イン・レジデンスに向けたさらなる展開や海外への発信・交流につなげていく。

活動内容①ワークショップの開催（永平寺町内）

- ①写真家エバレット・ケネディ・ブラウン氏と
松岡地区のまちなみの撮影
【日程】令和3年11月6日(土)
【会場】松岡十二曲がり地区
【対象者】31名
(町内21名、町外2名、県外8名)



- ②菓子職人モレル・ドリアン氏と学ぶ
和菓子づくり
【日程】令和3年11月7日(日)
【対象者】10名(町内)



- ③造形作家キム・ミンヒ氏から学ぶ
ピースマスクづくり
【日程】令和3年11月13日(土)
～14日(日)
【対象者】10名(町内)

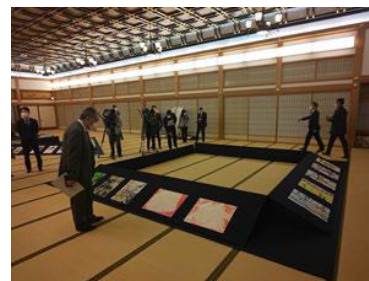


事業成果・KPI達成状況

	項目	達成状況
1	参加者満足度	47回答中45人満足 満足度：96%

活動内容②アート作品の展示会の開催

- 【展覧会名】In Praise of Zen : Views by Seventeen Artists
ZEN礼賛：17人のアーティストによる心の情景
【会期】令和3年11月14日(日)～30日(火)
【会場】四季の森複合施設 旧傘松閣
【参加者】641名(アンケート回答者より：町内97名、
町外172名、県外38名)



事業成果・KPI達成状況

	項目	達成状況
1	参加者満足度	304回答中296人満足 満足度：97%

2.活動内容

活動内容③アジア・ソサイエティ・ジャパン・センター (アート委員会)との交流

世界13か所に拠点を持つ非営利団体「アジア・ソサイエティ」の日本支部のアート委員会(15名)が工芸産地視察で来福した際に四季の森複合施設での展示会に来場。アーティストからの解説を受け、交流を行った。



越前和紙産地(越前市)を訪問し、和紙工房をを見学するとともに、和紙作家のトークイベントを実施



活動内容④伝統工芸(越前和紙)とのコラボレーション

越前和紙を用いてギリシャ在住の海外アーティストがが着物をイメージした作品を製作し、永平寺町での展示会場で展示した。

ブラジルの調香師が禅をイメージした香水を開発し、染みこませた越前和紙の巻物を越前漆の盆の上に置いて展示した。



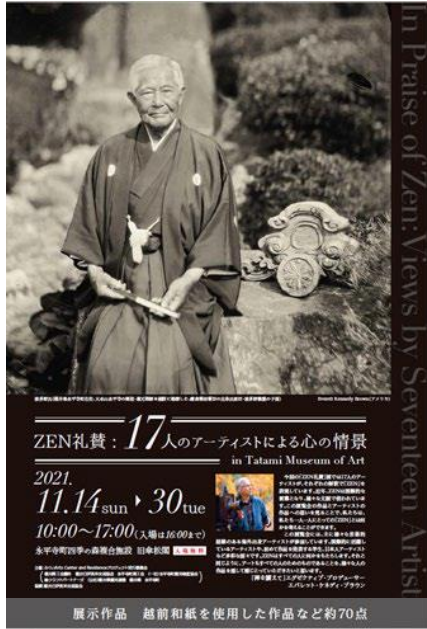
【その他：観光庁事業との連携】

今年度、弊社(クラフトパートナーズ)が観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に採択され、「アート×禅(ZEN)×地域資源(文化、伝統工芸、食)による海外富裕層向け特別ツアー-実証事業」を実施した。

当事業では富裕層モニターツアーを行い、11月29日に、同ツアー参加者が永平寺町でのアート展示会場を訪問、アーティストと交流を行った。

広報について

チラシの製作



ArtSticker ((株)The Chain Museum運営) のプラットフォーム活用
 展示会イベント紹介サイトへの掲載 (アクセス数 約400)、音声ガイドシステム (日本語、英語) を活用



永平寺町、福井県のFacebook、
 インスタグラム、ツイッター等のSNS
 を活用して広報PR



3.自立化・自走化の検討

項目	検討内容
実施体制	<p>当事業ではアーティストインレジデンスを目指す「ふくいArts Centre and Residence実行委員会」を組織しており、初年度は弊社が代表法人となり、福井県、永平寺町とともに運営していた。今後、地域おこし協力隊も募集しながら、地元永平寺町の住民やアート関係者の参画を募り、地元が主体的に運営していくような道筋をつけていきたい。</p> <p>（本年度のアンケートでは、「芸術（アートを活用したまちづくり、地域づくりに積極的に参加したいか）」という問いに対し、177の方が「参加したい」「自らが関わりたい」と回答している。）</p> <p>また、アートプロデューサーも配置しながら、アートを活用した関係人口の創出拡大を図っていきたい。</p>
運営費用	<p>自走化に向けて、アーティストと地域の産業（伝統工芸等）のコラボレーションにより商品化を図るほか、北陸新幹線の福井開業（2024年）を見据えてインバウンド等の観光誘客も目指していくことを考えている。しかしながら、それらから安定的な収入を確保するまでにはかなりの手間や時間がかかることから、イベント等に参加料を設定するなど、可能なところから収入の糸口を探っていく。</p> <p>あわせて内閣府や文化庁、観光庁などの助成金の活用も視野に入れていくこととする。</p>
課題と対策	<p>本年度の事業実施により、アートと活かした地域おこし、関係人口拡大のきっかけ作りはできたと言えるが、地元の熱量をより上げていくことが課題である。ワークショップも重ねながら、地元の住民、事業者の主体的な参加意識を高めていきたい。</p> <p>また、自走化に向けては産業面・観光面の実務的なコーディネートができる人材を配置していくべきと考えている。</p>

4.他地域への横展開の可能性の検討

項目	検討内容
事業スキーム・プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・アーティストインレジデンス（AIR）を中心とした創作活動および個展・グループ展等 ・ZENをテーマにした展覧会、およびワークショップ、ギャラリートーク等の関連イベント
連携先・地域	<p>福井県内では越前市や高浜町でアーティストインレジデンス事業が展開されており、永平寺町での事業を進めるとともに、アート振興というつながりから、県内他地域との連携、交流を図ることを検討する。（今年度の越前和紙とアートとの連携、高浜在住アーティストによるワークショップなどを発展させていく。）</p> <p>また、福井は禅のふるさとであることから、海外アーティストのネットワークを活かし、海外のZENセンターとの交流等もオンライン、リアルの両面で考えていきたい。</p>
課題と対策	<p>福井県内でも地域によって特性、特徴があり、それらを踏まえた横展開、連携を図るためには全体をコーディネートできる専門人材が不可欠となる。</p> <p>「ふくいArts Centre and Residence実行委員会」は中間支援団体として福井県や永平寺町などとの連携体制を強化していく。</p>